

明日の家族を考える会 報



・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀紘一 ・事務局長 中村厚子
・発行責任者・編集人 羽賀紘一 ・毎月1回発行
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

第37号

2012年6月

第8回定期総会開催

○日時 2012. 6. 7 (木) 12:30~13:10

○場所 ホテル竹園芦屋 三笠の間 ○司会 中村事務局長

○出席者確認 (敬称略)

正会員 安生、大脇、河村、中村、中島、羽賀、榎本、宮本、守上、三木、安井
以上11名

賛助会員 伊谷

○正会員18名の内、出席者11名、委任状2通、会則に基づき総会は成立。

○配布資料の確認 第8回定期総会資料、年度の表記を「平成」から「西暦」に変更。

○議長選出 羽賀会長 ・議事録作成人指名 榎本会員

・議事録署名人指名 大脇会員

第1号議案 2012年度役員の改選 (説明者: 羽賀会長)
原案を提案



ホテル竹園芦屋 三笠の間にて

第2号議案 2011年度事業報告(説明者:楨本会員)

原案を提案

第3号議案 2011年度決算報告(説明者:河村会計担当・会計監査:楨本会員)

原案の未入金、支払い金について説明し、一部修正して提案

第4号議案 2012年度事業計画(説明者:中村事務局長)

原案を提案

第5号議案 2012年度予算(説明者:河村会計担当)

原案に加えて、公開学習会における講師料の変更、ボランティア感謝費用分(3名から4名に変更)、一部修正を加えて提案

以上、各議案ごとに慎重に審議した結果、一部の修正を加えて、異議無しとして承認されました。

羽賀会長より、議案が承認されたことに対し、お礼の言葉があり、閉会した。

第8回定期総会に続き、6月度例会・昼食懇親会開催

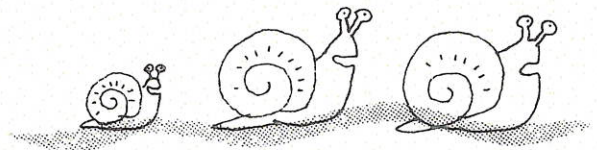
13:10~14:30

○出席者確認 安生会員欠席、他は総会出席者と同じ

○報告事項

*事務局報告

- ・定期総会にて報告済みのため省略
- ・会報第36号(2012年5月)を配布



○懇談事項

1. 退任挨拶:三木、安井副会長、就任挨拶:宮本副会長、守上会計監査
新入会員挨拶:中島かおり会員
2. 2011年度1年間を振り返って
3. 杉本会員退会の件 今期分の寄付金(1万円)を活用して3年間賛助会員になっていただくことが提案され、承認した。後日、事務局よりご本人に連絡し、説明して了承を得ることとする。会員名簿を訂正すること。
4. 東日本大震災(東北レインボーハウス建設基金)への寄付について
2012年度予算として特別会計からではなく、一般会計から支出することにし、既を送金した。
5. 男女共同参画団体協議会における当会の活動について。
6. 2012年度の活動について
第13回公開学習会は、9月1日(土)芦屋市医師会 医療センターにて、テーマ:ラフターヨガ(笑いヨガ)を実施することを了承した。
第14回公開学習会、第15回公開学習会についても計画案に基づいて今後、詳細を決定する。
7. 当会の紹介パンフレットの改訂版のゲラ刷りを配布し、訂正すべき点について

懇談した。

8. 今後の会費納入について

原則として振り込み制とする。



梅の実



ユリ科ササユリ



キキョウの花

◎正会員入金口座 三井住友銀行 芦屋駅前支店 店番380

普通4099621

名義人 明日の家族を考える会 事務局 中村 厚子

◎賛助会員入金口座 ゆうちょ銀行 14380 90430661

名義人 明日の家族を考える会 事務局 中村 厚子

9. その他 中国のお国柄について

○次回幹事会

7月26日(木) 19:00~21:00 中村邸

○総人口に占める国別子どもの割合

＝日本は38年連続で低下・最低水準＝

総務省がまとめた人口推計(2012年4月1日現在)によると、15歳未満の子どもの数は前年比12万人減の1,665万人(男子852万人・女子812万人)。1982年以降、31年連続で減少。総人口に占める割合は38年連続で低下し、過去最低の13.0%だった。

人口4,000万人以上の27ヵ国中では、日本の子どもの割合は最低であった。

主な国の割合は次の通り。

・近隣諸国	○日本	13.2%
	最高は沖縄の	17.7%、最低は秋田と東京の11.3%
	1950年は	35.4%
	○韓国	16.2%
	○中国	16.5%
・欧米先進国	○アメリカ	19.8%
	○イギリス	17.5%
	○ドイツ	13.4%
	○フランス	18.5%
	○イタリア	14.0%
・新興国	○ベトナム	24.5%
	○インド	35.3%
	○インドネシア	27.0%
	○ブラジル	26.0%
	○パキスタン	41.6% (国別では最高)



○「お母さんにやさしい国」ランキング

子ども支援の国際 NGO であるセーブ・ザ・チルドレンは、先月「母の日レポート2012」を発刊した。世界165カ国の母親を取り巻く状況を総合的に評価した「母親指標」において日本は30位と発表した。

母親指標とは、保健、栄養、教育、政策決定への参加などの実情を評価した「女性指標」と「子ども指標」をもとに順位づけされるものです。

トップ10位の国

- 1. ノルウェー
- 2. アイスランド
- 3. スウェーデン
- 4. ニュージーランド
- 5. デンマーク
- 6. フィンランド
- 7. オーストラリア
- 8. ベルギー
- 9. アイルランド
- 10. オランダ/英国

| |

- 25. アメリカ

| |

- 30. 日本 (働く母親への支援制度が整っていないことなどから先進国の中では低迷している)

*女性指標

・産婦死亡のリスク・現代的な避妊手法の使用・訓練を受けた医療従事者の立ちいのもとで出産・女性の平均寿命・女性の正規教育期間・男女間の給与所得の比率・産休、育休制度・女性の国政レベルでの参加率

- 1. ノルウェー
- 2. ニュージーランド
- 3. オーストラリア
- 4. デンマーク
- 5. アイスランド

| |

- 36. 日本

ワースト10位の国

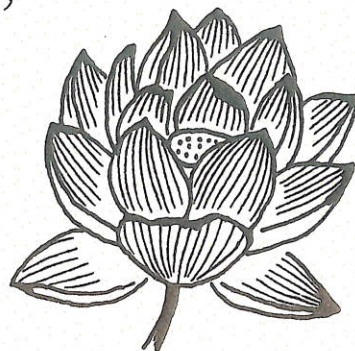
- 149. コンゴ民主共和国
- 150. 南スーダン
- 151. スーダン
- 152. チャド
- 153. エトリア
- 154. マリ
- 155. ギニアビサウ共和国
- 156. イエメン
- 157. アフガニスタン
- 158. ニジェール

(食料危機により多くの子どもが栄養失調に苦しんでいる)

*子ども指標

・5歳未満の子どもの死亡率・5歳未満の子どもの栄養不良率・就学前教育就学率・初等教育就学率・初等教育就学の男女比・中等教育就学率・安全な水の利用率

- 1. アイスランド
- 2. スウェーデン
- 3. 日本
- 4. オーストラリア
- 5. イタリア



○6月の子育て支援活動

*カルガモクラブ 河村さん担当

第1・第3木曜日10:00~11:30

打出集会所

0歳~よちよち歩きまでの親子が対象です。手遊びや育児の悩みを先輩ママがサポートします。

子育て仲間を作って育児を楽しみます。



6月7日(木)は、**2組の親子**が参加されました。

ボランティアは、徳田さん

21日(木)は、朝からどしゃぶりの雨が降ったため参加者はありませんでした。

ボランティアは辻原さんが来られました。



アカバナ科マツヨイグサ



○のびやかスペース「あーち」 ・・河村さん担当

第1、第3火曜日13:00~15:30

神戸大学大学院人間発達環境学研究所、ヒューマンコミュニティ創成研究センター・サテライト施設にて実施しています。

6月19日(火)は、台風第4号の接近で中止となりました。今月はこの1回だけだったので開設がありませんでした。

*バンビグループ・・・河村さん担当

第2・第4火曜日10:00～11:30 打出集会所

1歳～3歳の親子が対象

6月12日(火)は、**6組の親子**

(その内子どもは8名)が参加されました。

ボランティアは、徳田さん、山内さん

26日(火)は、**5組の親子**

(その内子どもは7名)が参加されました。

ボランティアは、曾我部さん、徳田さん、山内さん



ボール投げをして遊んでいます。





電車ごっ子は楽しいな!



トンネルをくぐりまーす

県民交流広場事業

まちの寺子屋



・・・河村さん担当

6月22日(金) 15:30~17:00前田集会所にて

＝たなばた飾りを作りました＝

まちの寺子屋は、幼稚園児、小学校低学年を対象に毎月第4金曜日、15:30~17:00に前田集会所(前田町8-17)で開設しています。

今回の参加者は、**3名** (幼稚園児・女の子) でした。

今日は、みんなで色紙を使ってたなばた飾りを作り、笹に取り付けました。最後に紙芝居を楽しみました。



たなばた飾りを作っています。



完成したたなばた飾り



紙芝居「おねぼうなじゃがいもさん」 話し手：河村さん

社会で生きていくのに大切なものは？

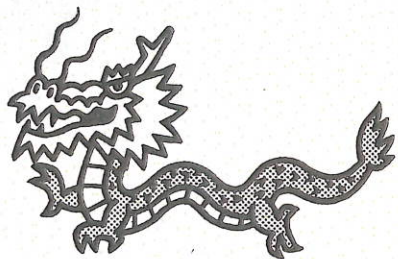
日経生活モニターの子ども達、小学校4年生～中学校3年生178人を対象に、首題のテーマでたづねた調査では、結果は下記のようになっています。

- | | | |
|--------------|-----|--------------------------|
| 1. 健康であること | 69人 | (元気でないと何も出来ないが理由) |
| 2. 忍耐力・辛抱強さ | 57人 | (思うようにいかない社会では我慢出来る人が強い) |
| 3. まじめであること | 56人 | (まじめにやらないと相手にされなくなる) |
| 4. やさしさ | 54人 | |
| 5. 正直なこと | 50人 | |
| 6. 人間関係 | 45人 | |
| 7. かしこさ、頭のよさ | 39人 | |
| 8. 向上心 | 36人 | |
| 9. 夢を持つこと | 34人 | |
| 10. 勇気 | 32人 | |
| 10. 家族 | 32人 | |



子ども達の親にも同じ質問をしたところ、1, 2位は子ども達と一緒にあったが、3位は、「人間関係」であった。

「健康であること」を1位にあげた、多くの子ども達は「毎日、元気に学校や勤めに行くことは大変なことだ」という声が寄せられた。



編集後記

私の所属するNPO女性と仕事研究所には「メンター」と呼ばれる人が登録されていて、いろんな人に助言を与えている。メンターは良き助言者、顧問、スポーツのコーチなど幅広く用いられる。

何事も自立、独立独歩が尊ばれるアメリカでもこのメンターの存在は極めて大きい。

私たちの生活を見回しても生活設計についてはライフプランナー、ファイナンシャルプランナーなどと呼ばれる人がアドバイスしてくれる。欠陥商品については消費生活センターが門を開いてくれる。自動車のトラブルは損害保険代理店、JAFがメンター役をしてくれる。挙げてみると身のまわりには随分たくさんの助言者がいることがわかる。現代の社会では、こうしたメンターを自分の生活に持っていることは大切な事だと思う。私の子どもの頃のように家族や親族が身近にたくさんいたときは、おじやおば、年かさの兄や姉がその役を果たしてくれていた。遊び仲間にはガキ大将を頂点にしてメンター役が形成されていたと思う。現在はこのような形が薄れてしまったため、自らが信頼出来るメンターを持つことが大切であろう。

(羽賀)